

【年間テーマ : スタッフへの抑制廃止に対する意識向上・指導方法を考える】

平成 28 年 10 月 20 日

日付	平成 28 年 10 月 8 日 (土)			
場所	天神福岡ビル 9 階		記録者名 : 大村 保子	
出席者 (敬称略)	瓜生	平山	梅田	原
	大村			
テーマ	アンケート結果を開示後のスタッフの反応と関わり方はどうか。			
結論	アンケート結果の開示を行ない、抑制に対する看護師の意識の低さに驚いた。 しかし、カンファレンスの回数が増えたり、発言が多くなったり、話し合いを重ねることで意識の高まった感じがする。4 点柵固定やベッドの壁付、センサーマットの使用基準については介護保健指定基準において禁止対象となる具体的な行為に対して各院所の抑制マニュアルを確認、整備する必要がある。			
決定事項	参考となるものや院所で取り組める事を「抑制を減らす」「抑制を外す」の意識を持って次回まで続けていく。更に再アンケートを行い結果の比較をしてグループ内で発表、意見交換する。			
備考				
次回討論項目	取組の成果の有無等を共有して来年、2 月の発表へのまとめを行う。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)